

廿七年

明治三十八年十月二十四日

乃ッ入ノ島

技師岸上録吉

ト  
家  
自

夕  
獨  
禮

5-0398

0307

[Blank lined area for notes]

ろっべん島視察復命書

樺太東海岸漁場視察ノ為明治三十八年八月二十四日民政署雇入漁  
 船禮文丸ニ乗込ミ、不ろあんどまりヲ出帆ス、同廿六日とんないちやミテ  
 護衛ノ兵セ十一名ヲ乗リ込マシメタリ後直々ニろっべん島ニ到リト  
 歎シタルモ天候不穩ノ徴アリタルヲ以テあいろっべん島<sup>昭和七年十月</sup>  
 樺太全圖<sup>陸地測量部出版</sup>ニ接鑑セリ、八月二十八日ニ至リ天候漸ク快復シ霧亦  
 散シタルヲ以テ午後一時ニ十分ろっべん島ニ向ヒ出帆ス、測程器ニヨリ  
 ハ八月二十九日午前六時ろっべん島附近ノ位置ニ達シタルモ島影ヲ認  
 ムルコトヲ得ス、更ニ少時北航ノ後陸地ヲ認メテ其方向ニ進ミタルニ  
 序 八頁

つべん島ニ非ラスシテあるベニ岬ナルヲ察見セリ、同時ニ南西ニ小岩  
 ノ如キモノアルヲ見タリ、是レろづべん島ナリ、乃チ船首ヲ回ラシテ進ミ午  
 前八時ニ十分同島ヲ西方約三四哩ノ処ニ望ム、然レトモ風濤漸ク荒汎  
 クシテ安全ニ上陸スルコト能ハサルヲ以テするベニ岬島東側ノ不ろ  
 ちに岬南方ノ淺ニ碇泊ス、再後連日暴風ヲ同地ニ燻ケ九月三  
 日天候ノ快復シタルヲ以テ午前六時錨地ヲ棄シ午前十時ろづべん  
 島ニ到着ス、直ニ上陸調査ニ從事シ午後四時頃船ニ戻レリ、  
 僅々數時間ノ調査ニシテ不完全ナルヲ免レサレトモ當時ハ既ニおとせ  
 いノ島上ニ生活期ノホニ際シ且ツ陸上諸設備ハ甚タシク破壊サレアリテ  
 到底帯在調査ノ見込立タサリシヲ以テ止ムヲ得サリナリ。左ニ實地目  
 撃シタル状況ヲ記シ、附スルニ見取図及寫真數葉ヲ以テシテ参  
 考ニ供シ、尚ホ千八百九十六年米國國立博物館録員すていねー  
 ガー氏報告書中ヨリろづべん島歴史ニ関スルモノヲ譯シテ附録

トシ獲命ニ及ヒ候。

明治三十八年十月二十四日 樺太民政署技師 榊澤博士 岸上録出



ろくべん島

*Reken Island*

*Rekeni Ootop*

本島はおこづく海中である。岬は南西十一哩、処ニアリ、其位置は北緯四十八度三十分、東経百四十四度四十五分ト云ヒ或ハ北緯四十八度三十五分、東経百四十四度四十四分或ハ東経百四十四度三十分ナリトモ云フ。

本島は頂上平坦ナル一大岩塊ニ過キス、其形細長クシテ東北ヨリ西南ノ方向ニ走リ、中央ハ岩塊ヨリナリ、其長サ四五町高サ六七町幅約三十間ナリ、其周圍ハ砂灘ニシテ其幅五六間乃至十餘間ナリ、而

シテ西方ノ砂瀆ハ東方ノモノヨリモ其幅廣シ。

岩塊ハ灰褐色ヲ帯ヒテ軟ク且ツサ薄キ層ヨリナル(すかんもん氏ノ著書ニハ火山岩ヨリナルト記セリト) 東北端ニ近キ処ニ於テハ東南方ニ傾キ東北端ハ一箇ノ屹立セル岩ニテ終ル、西北側ハ断崖ヲナシ東南側ハ所々急傾斜ヲナス、西北側ニアル坂ヲ除ケハ頂上ニ登ルハキ路外ニナシ。

島ノ東南側ニ暗礁多ク静穏ノ地ニ於テモ処々ニ白波ヲ見ル、又東北端ヨリテるハニホ半島ニ向フテ是レ暗礁肌アリ、其最北端ニ志ぶちかーめん(とどろ岩)ト稱セラルルハ岩突出セリ。島上ノ動物植物ハ其種類甚タ少シ、動物ニテ最モカラヤモノハハナリ、カシメ、カモ、セギ、クモ多ク此島ニ集マル。

植物ハ東南部ニ多ク、西北部ニ始トナシ、而シテ島ノ頂上ニハ鳥糞尿一面ニアリテ臭氣甚タシク植物ノ發生殆トナシ、其島ニ多ク生スル植物ハ二種ナリ、一ハ禾本科ニ屬シテ砂瀆ニ生シ、一ハ蘭科ニ屬シテ他種ヨリモ海岸ヲ隔タリ且ツ高キ処ニマテ生ス。島ノ周囲海中ニハこんぶ、わかめ、ざるめ、さんごも等繁茂シカイめん、かに、複不や、たら、かれい、等亦甚タ多シ。島ニハ水ノ湧出スル処ナシ。

島ノ南端ニ近クシテ西北側ニ坂アリ此坂上ニ三棟ノ家アリ、最高ニアルモノハ四室ニ分タレタリト記憶ス、外觀稍宜シ、蓋シ守備士官ノ居ニ充テタルモノナラン、次ニ在ルモノハ廣シ、守備兵卒住居ナルヘシ、其入江近キ所ニ九挺ノ銃ヲ置クヘキ銃架アルヲ見タリ。

此等ノ家ヨリモ尚ホ南方砂瀆ニ厩<sup>ウマ</sup>庫ニ棟アリ。島上ニハ石片ヲ積ミテ高サ三尺程ノ障壁ヲ作リアリ、其位置ハ坂上西北側ト家屋ニ反對セル側ニ在ル崖上トナリ、障壁ニハ所々銃眼様ノモノアルヲ認ム。



頂上中央ニ高サ約三間ノ旗竿アリ、其東北部ニ墓アリ、木製  
 十字架ヲ見、所ノ煉化石ハ半ハ剥離セリ、墓ノ周圍ニくぢラノ  
 脊<sup>椎</sup>數個ヲ並列セリ、旗竿ヨリ數步南ニ茶褐色ニ塗リタル高サ  
 一丈餘ノ杭一本アリ、氣象觀測ニ用ヒタルモノナランカ、頂上西北側  
 ニシテ坂ヲ北方ペンギ小屋、又其北ニ日時計アリ、午前十時ヨリ午  
 右五時迄ノ度ヲ刻ミアリ、高サ坂上障壁ノ陰ニ一本ノ太キ棒アリ、  
 破壊セシ鐵製ノ附屬物ヲ見、又棒ト最高家屋トノ間ヲ溝ア  
 ル木片ニテ連結セリト見、或ハ信子用ニ供シタルモノカ、此棒ノ北方ニ四  
 本ノ短キ棒アリ、是レ檢温器ノ臺ナラン。  
 屋舎ノ前、沙濱、鐵製ノ貯水槽數(五ト)個アリ、以テ約五拾  
 噸ノ水ヲ貯ルニ足ルベシ。  
 矢張り、其ノ彩色ノ歩哨ノ入ルベキ小屋一個西海濱ニアリタリ。

八月二十九日海上ヨリ望見シタル時モ九月三日上陸シテ調査シタル際  
 ニモおつとせいノ島ノ東南側ニシテ旗竿ノ位置ヨリモ稍々南  
 方ニ偏シタル海岸波打際ニ群集ス、其群集セシ処ノ面積ハ波打  
 際ニ沿フテ長サ十餘間幅ニ三間ナリト推定セリ、其區域内ニおつと  
 せいノ豆ニ相密接シテ息ヒ、或ハ臥シ、或ハ歩シ、或ハ林ヲ扇キ、或ハ  
 互ニ嚙ミ合フテ戯ル、而シテ狭キ区域ニ密集スルノ甚タシキ臥シ居  
 ルモノ、上ヨリ歩スルモノアル程ナリ。  
 予ノ檢シタル際ニ陸上ニ凡ソ四五百頭ノおつとせい居タリ、而シテ  
 其中ニ形稍々大ニシテ頸部太リ、壯獸ト覺シキモノニ頭アリタリ、  
 他ハ皆背部灰色ヲ帯ヒ腹部褐色ヲ帯ヒタル壯獸ニシテ今年  
 生レノ幼獸ト認ムヘキモノヲ見サリシ、海中ニハ島ノ東南側暗礁附近  
 ニ數頭乃至四五百頭群ヲナシテ嬉々トシテ游泳シ、或ハ相並ヒテいるカ  
 ノ如ク跳躍スル等陸上ニ於ケル舉動ニ反シ甚ダ活潑ニシテ艶麗ナ

リ、而シテ海上ニテモ往々仰向トナリテ眠ルコトアリ、海中ニ在ル此等ノ  
獸中ニ必ズ如獸ノ群モアリタルナランモ判別スルコト能ハサルン。

陸上ニハ如獸ノ屍骸數個アルヲ見タリ。

陸上及ヒ海中ニ在ルおとせいヲ合計シ約三千頭ニ達スヘト推定  
セリ。

すてーわーが氏ノ報告ニヨリ本島ニ於ケルおとせい蕃殖場ハ長サ  
一町半乃至ニ町幅五六間ナリ。

本島ハ周囲尽リ砂濱ナシハぶりがろーふ(采鑛)とんまんだー(鑿鑛)蕃  
殖場ノ岩地ナルニ異ナレリ。

本島ニ在ルおとせいノ食料ヲ求ルル海面ノ区域ハ不明ナリ、島ノ附  
近ニ動植物ノ多キヲ見ルル或ハ遠ク食餌ヲ求ルルコトハナカラシカ、

予ノ東海岸巡視ノ際ニ在ルルハ岬附近ニテ只一頭ノおとせい  
イヲ認メタルノ外、ろっべん島ヲ隔タリタル処ニ於テ該獸ヲ見タル

コトナシ、但海軍々人ニテ在ルルベニおとせいノ遺跡ハタニ於テおとせいヲ認メ  
タリト語りタルモノアルトモ或ハ他ノ海獸ヲ見誤リタルモノナルヤモ保  
シ難シ。

おとせいノ本島へ来リ或ハ本島ヲ去ル道は筋ニ就テモ未ダ正確ナ  
ル調査ナシ。

おとせいノ當時上陸群集シ居タル所ヨリ南北各々約二三十間  
ヲ離レテニテ所ノ柵アリ、一ハ石片ヲ積ミ上ケテ作ラシ、他ハ木材ト草ト  
ヨリナレリ、多分密猟者ノ作りタルモノナラン。

島ノ南北両端砂濱ニ本年密猟者ノ残シタル屍骸數百アリタリ。  
本島附近ニ安全ナル碇泊場ナシ、又近海波濤大ニシテ上陸ニ困

難ナリ。



本島及ビテるペルハ半島以東ノ水邊ハ五度内外ニシテ甚ダ冷カナリ、之レニ反シ其以西ハ於テハ十五度内外ノ溫度アリテ暖カナリ。

本島ノ状況及歴史ヲ考フルトキハ本島ニハ約ニ萬頭ノおとせイ群集スルコトヲ得、此ヲ十分保護スルトキハ年々三千枚内外ノ毛皮ヲ收獲シ得ラルベシ、然レモ密猟者ヲ絶對的ニ防キおとせイノ蕃殖ヲ保護スルコトハ事實ニ不可能ノコトナルカ如シ。

故ニ未レ年ニ於テハ五六月頃調査員一名番兵十名内外ヲ派遣シ四ツ数十日間ノ糧食、飲料水、薪炭等ヲ供給シ、高キ家屋、修繕ヲナサシメ十月中旬頃マテ駐在セシムルヲ要ス、而シテ最初及ビ最後、航海ニハ四百噸以上ノ汽船ヲ用フルヲ適當ト認ム、其他駆逐艇或ハ不ろない河ロニ出入シ得ヘキ汽艇ヲシテ時々島ノ周圍ヲ巡航セシムヘシ。

番兵ヲ越年セシムルニアラサレバ島ノ防備ニ純ソ用フルコト能ハサルヘク、畢竟ハ銃ヲ用フルコト外途ナカラシ。

おとせイノ調査ハふりびろー及こんまんだーノモノニ就テハ詳細ナルモノアレトモ本島ノモノニ就テハ皆無ナシハ成ルハ速ニ本島ニ於テ此獸ノ習性等ヲ研究セシメサルベカラス、此智識ナケレハ適當ナル保護法ヲ案出スルコト能ハサルナリ。

昨レ年ヨリ本年ニカテ密猟者ノ跋扈甚タレカリシヲ以テ明年ヨリ三三年間ハ陸上ニ於テおとせイヲ屠殺スルコトヲ中止スルコト得業ナリト信ス。

左ニすてーねーガー氏報告書中ヨリ本島ノ歴史等ニカキルモノヲ抄録シ奉ルニ供ス。

ト 終 八頁



ろっべん島ノ歴史

一八五二年或ハ其翌年ノ頃捕鯨者本島ニ上陸探検スル  
処アリテニ期間ニ五六萬枚ノ毛皮ヲ取りテ島上ノ獸ヲ殆  
ト全滅セシメ其後數年向本島ニ於ケルおつとせい蕃殖場  
ハ實際荒蕪ニ帰レタリト云フ。

ぼーくろ三橋  
船ミレテ前橋ニテ  
形帆ヲ掲ルモノ即  
チ横柄ヲ有スモノ

一八五四年或ハ一八五五年即チくりみや戦争ノ際ニこんねく  
ちかつと州にゆゑろんどんヨリバークヲ解装シ来リ、其船ノ二倍  
大ノ船ニ用フヘキ錠ヲ投シテ本島沖ニカ、リ風波荒キ時ハ  
常ニ甲板ヲ洗ハレタレトモ貴重ナル毛皮ヲ満載シテ去レリト  
云フ。

一八六九年ニかぶてん、リまさ、ぶすき、ノ、今島うるつ、島ヨリ同  
島土人(ありや、ヒ)ヲ卒ヒテ本島ニ来リタル時ニ蕃殖場ノ状

すくーふート  
クニ橋船ミレテ横柄  
ヲ有セサルモノ

況ハ恢復シテ十四年前ニ於ケル濫獲ノ跡ヲ止メス、全島ノ  
周囲尽クおつとせいノ群集スル処トナリ居タリ、故ニおつとせいヲ  
追フコトノ經驗ヲ有セザリシうるつ、島土人ハ恐レテ上陸セズ、リまさ、  
ぶすき、モ止ムヲ得ヌ、遂ニ退去シタリ。

一八七〇年ニおつとせいハ余リ多クナリシト見ユ此年ニハ少ナクモ二  
隻ノすくーふー、密猟ニ来レリ、就中モ、リまさ、ノ、多ク分ニ萬  
枚以上ノ毛皮ヲ得タルナラント云フ。

此濫獲ノ結果トシテ一八七一年ニこんまんだー島おつとせい時  
許官ニ業者ノ代表者ノ本島ニ来リタル時ニ、全島僅カニ  
二千頭ニ足ラサル海獸アリタリ、依テ特許ヲ受ケタル商會  
ノかぶてんに、ばうむ、ハ、月ニ上陸シテ其年以後蕃殖場ノ  
適當ニ恢復スルマテ、獸ヲ殺スコトヲ嚴禁シ又他ヨリノ妨害  
ヲ防クコトヲ準備船ニ嚴命セリ、此等殺ニヨリニ、年後(一八七三

年)ニ至リ少シク楓葉ヲ凋落スルコトヲ得 其年ニハ二十七百頭ヲ  
殺セリ。

一八七八年頃ヨリ英米独蘭等諸國ノ旗ヲ掲ケ日本ヨリ艦装  
出帆スル 獵船續出シ午島其他ニテ未知ノおとせい蕃殖  
場ヲ探求シ且ツ一方ニ於テ既知ノ蕃殖場ニ密獵ヲ試ム  
ルニ至レリ。

本島ハ一小孤島ニシテ只一艘ノすくーなりトサ教ノありヤト  
ノ居ルノミニシテ防備薄ク且ツ蕃殖期ノ末ニハ密業時許  
者ハ收獲ヲ終リテ其防備ヲモ徹スルカ故ニ性々密獵者  
ノ跋扈スル所トナレリ。

此等密獵船名及ヒ其艦較シタル頭数ハ詳知スルノ途ナケ  
レ以下記スル所ニヨリ其一班ヲ知ルコトヲ得ン。  
一八八〇年時許会社ノ所有船れおん号、船長ぶれーあ、

七月十三日本島ニ着シありヤト人ヲ上陸センメタリ、此時既  
おつら号、のーす、すたり号ナルすくーなりニ隻同島ニアルヲ見タリ、  
然レトモおつとせいノ上陸前ナリシヲ以テ未ク何等ノ妨害ヲナサバ  
リシ。

此年ノ夏ハすくーありノ来ルニ稀ナリシ。

六月二十日ウラズミ号、七月十六日すてら号、七月二十日ぶらいいん  
ぐ、みすと号本島附近ニ来レリ。

九月四日会社所有船あれきさんだー第ニ世号、船長さんどま  
ん来リテ三十三百三十枚ノ毛皮ヲ搭載シ去レリ、同船長ハ其  
日誌ニ「海岸ニハ幼獣及ヒ此獣ハ多数ニアレトモ殺スハキ獣ハ甚  
ク少シト記セリ。

此年時許者ノ退去後すくーなり、あてれ号船長ふおるがーノ到  
着シタル際ニハ既ニ十一艘ノすくーなり本島ニ蠟集シ居

タリト云フ、同船長ノ記録ニハ、我々ハ総シテ三千八百頭ヲ得タリ、我々ハ総テヲ殺シ或ハ駆逐シタリト載セアリ、以テ當時ノ状況ヲ知ルニ足ラン。

一八八一年ニハ、敵艦ノすくーな一本島ノ周囲ヲ彷徨シ十一月ニ至ルモ尚ホサ護衛艦ノ去ルヲ待テ居タリ、十一月一日頃あんに、かつたまん号ニテまいな一氏到着シタルニ既ニ三艘ノすくーな一ノ居ルヲ見タリ、上陸、撲殺シテ八百頭ヲサ獲タリトノ記録アレハ四艘ニテ凡ソ三千二百頭ヲサ獲タルナラン。

此等密猟者ノ方法ハ船長おおるカーノ報告スル所ニヨリハ共同シテ殺戮ニ従事シ、彼各自ニ分配スルナリト、又同人ノ記事ニヨリハ護衛艦不在ノ時ニ乘シテ密猟スル方法ハ左ノ如シ。  
護衛ノありやうとヨリ買収シ、サ護衛艦ルおん号ノ島ヲ去リタル時ニ燈火ヲ滅ス、此信号ヲ見テ密猟艦ハてるべ

にオ岬ヨリ出来ルナリ、又久シク機會ヲ得サル時ハ速カ最  
大ナル船ヲシテ島ニ近フカシメ其れおん号ニ近ハル、同ニ密  
猟ヲ行フ。

當局者ハ一八八一年ノ経験ニヨリ蕃殖場保護ノ為ニ以前  
ニ優リタル方法ヲ採ルコトセリ、即チ領事ヨリ密猟ニ関シ  
左ノ通告(Notice)ヲナサシメタリ、

通告

ペーリリンド其地島嶼ノ當局者ヨリノ要求ニヨリ下名ノ露  
國帝國政府カ公衆ニ知ラスル為左ノ事項ヲ公ニスルコト  
ヲ通告ス

一、東部ニペーリリンド總督、特許或ハ許可ナリシテ外國船舶  
ハおこつく海、ペーリリンド海ニアル露國沿岸或ハ島嶼ニ於テ或



一、あつち東北海海岸ニ於テ或ハ其海上境界線内ニ於テ貿易、漁業、漁業等ニ従事スルコトヲ得ズ。  
 二、前条ノ特許或ハ許可ニ就キテハ外國船舶ハうちぢおすどつぐこにし出願スヘシ。  
 三、ヤとろ不ろぶすく港ハかむちやとかニアシ唯一ノ港灣ナレバ此等ノ特許或ハ許可ヲ與ハス。  
 四、こんまんだー或ハろつべん島ノ陸上或ハ其附近海面ニ於テハ漁業、漁業或ハ貿易ヲ一切許サザルモノトス。  
 五、外國船舶ニシテ總督ノ特許或ハ許可ナラシテ露國領海ニ於テ貿易、漁業、漁業等ニ従事スルヲ察見セラレタルモノ及ヒ特許或ハ許可ヲ有スルモ漁業ニ關スル現行規則ヲ犯スモノハ船舶及ヒ其積載物ヲ官没トス。  
 此規程ハ一八八二年ヨリ施行ス。

六、以上各条ノ執行ハ露國軍艦或ハ露國商船之ニ任ス而シテ此等ノ艦船ハ之カ為ニ兵士ヲ乗込マシメ且ツ適應ノ命令ヲ受クルモノトス。

露西臣帝國領事

ソールペリかん

(署名)

一八八二年十一月十五日

横濱

加之島上ノ護衛者(オリヤード)ヲ増加シ各自ニ武器ヲ給シ、非役トヤツク士官ヲシテ之カ指揮ニ任セシメタリ、領事ノ通告及ヒ軍艦ノ巡航ニヨリこんまんだー島ノ密猟ハ幾分減少シタルモ却テろつべん島ノ密猟者ノ集合スルノ結果ヲ未セリ。

一八八二年ハサクモ十三艘ノすくーな一本島ノ周回ヲ徘徊  
シ且ツ従事ノ成効ニヨリテ大胆トナリ、寧ろ武カヲ以テ奪  
掠ヲ行フニ至レリ。

本島ノ大損害ハ寧ろ護衛船ノ秋期退去シタル後ニ  
起リ且ツ殺戮セラルルハ至ラシキ此獸及ヒ如獸ナレハ此年  
ハ護衛者ヲ越年セシムルコト、セリ然ルニ六艘ノすくーな  
一島ノ沖合ニ提錨シ各船ヨリ武装セルモノ十名ツ、ヲ  
上陸セシメ護衛者ヲ屋舎内ニ封鎖シ休ムトシテおとせ  
いヲ撲殺セリ、すくーな一おとめ号まいな一ノ上陸シテ一カニ  
午頭ヲ殺セリ、記セルハ此時、密猟ノコトナラン。

越年護衛者モ此為ニ大ニ恐怖シ遠方ニ汽船ノ煤煙ヲ  
望ミテ小舟ニ搭シテ島ヲ去レリ、其間船ハふりつゝあす会  
社所有船かむちヤとか号ナリシヲ以テとるさこふマテ便衆

レ其処ニテ越年セリ。

此事件ニ関シテハ一方ニ於テハ實際こそつくと及ヒ土人ノ買収  
セラレタルモノナリトモ傳ヘラル、何レノ説ノ信ナルヤハ不明ナレ  
其結果ニ於テハ悲シムヘキモノニシテ蕃殖場ハ不法ナル濫護  
ノ為メニ荒蕪ニ帰セントシ、當局者ハ熟考ノ上寧ろ残餘  
僅チノ獸ヲ殺シテ本島ヲ放棄スルコトヲ上策ナルベシト信  
スルニ至レリ。

おとせいの会社ニテ殺サレシ密猟者ノ為ニ居ラレ畢竟  
減セリ免カレサルヘシ、粟スルニ其毛皮ハ誰ノ手ニ歸スルヤノ問  
題ナリ、英領國政府ヨリ特許ヲ受テテ特許料ヲ納ルル会社  
カ或ハ捕ヘラレタルトキハ没收トモベリ也、鑛山ニ其役セラルノ危  
険ヲ有スル密猟者カノ問題ナリ。

遂ニ特許者モ亦密猟者ト同シク性、年齢ニ関係ナシ獸ヲ



殺スニ至レリ、實一八八三年ニ野蠻的行動ニヨリ一カニ千乃至  
ニカ頭ヲ殺シタリト云フ、然レトモ世ノモノハ三千五百頭内外ナリシ  
ナラントモ云フ。

一八八四年ニ前年ノ獲獲ニ関セス可ナリ多数ノ獸上陸シ特  
許者ハ正規ノ屠殺ヲ継続スルヲ正当ト認メタリ、特ニ政府  
ノ軍艦ヲ不依ニシテ以テ蕃殖場保護ノ任務ニ當ラシメタ  
ルコトモ亦此決心ヲナサシムルニ有効ナリシナリ。

此年ニハ密猟船四艘ヲ拿捕セリ、本島ニ於テ五ヶ年向密  
猟ニ従事シタル独乙船ハれ佐子、船長ゴーるだーモ亦此難  
ニカレリ、五百枚ノ毛皮ヲ得タルふりつくすノ如キハ逃レタリ。  
政府ハ本島ニ於ケルおつとせいヲ保護セントスルニ有カナル方  
法ヲ採ラサルベカシサレテ一八八五年ニハ志ベリハ艦隊ノ水  
兵十六人<sup>他ノ個処ニ</sup>ト士官一人トヲ島上ニ駐在セシメタリ、然レハ

十月中旬前ニ此ヲ撤去セリ。

會社ハ此年二千枚以下ノ毛皮ヲ得タリ、而シテ晩秋密猟船未  
リテ屠殺ヲ行ヘリ、即チペねろーぶ号船長まいなノミニテモ累ホ  
八百頭ヲ得タリ。

れおん号船長ぶれーあハ此年島上ニ在リタルおつとせいノ數ハ  
九ッ六千頭ト推算セリ。

一八八六年乃至一八八九年ノ四年間會社ハ島上ニ於テ猟業スルヲ  
一切中止シタリ、然レトモ密猟者ハ從來ノ如ク年々来リテ多  
クノ獵獲ヲ継続シタリ、ベーリンド海委員會英國委員ハ此  
等ノ密猟船ノ收獲ハヤクモ四百七十枚ナルベシト云フ。

一八九〇年即チおつとちんそんこーるふりつペオス會社ノ特許ノ最  
終年ニハ會社ハ千四百五十六枚ノ毛皮ヲ收得セリ。

一八九一年露國おつとせい毛皮會社ハ新ニ特許ヲ得テ年々規則

正シキ殺戮ヲナスコトヲ再ヒ開始セリ、然レモ結果不良ナリシヨ  
 リ一八九二年ニ殺戮ヲ中止セリ、一八九三年ニ蕃殖場ハ十分  
 恢復シ会社ハ千五百枚ノ毛皮ヲ得タリ、次テ一八九四年  
 ニ千枚、一八九五年ニ千三百枚ヲ得タリ  
 此等ノ年ニモ密猟者ハ秋季島ヲ荒スコトヲ止メス、而シテ捕  
 拿サル、危険ハ甚ダ少ナカリシ、然レモ一八九一年ありヤーと号船  
 長オランと、不意ニ島へ帰ル途中ありちつく号及ヒみすてー  
 号ノ二艘ノすくーなーヲ捕拿セリ、此等ノ帆船ハ横濱ヨリ機装シ  
 英國旗ヲ掲ケ千五百枚ノ毛皮ヲ有シタリ。  
 一八九五年英國帆船さいばん号ハ十月初旬横濱ヲ出帆シぶ  
 リ漁船タルカ如ク装ヒ十月廿九日水夫十七名ヲ本島ニ上陸セ  
 レ、八日後ニ帰着スルヲ約シテ島ヲ去レリ、然ルニ領吏ニシテ船路  
 國船ヤークと号来着シ十七名ノ密猟者ハ殺サレタルおつとせ

い多敷トヲ察見シ直チ捕ヘテうちおすとつくニ護送セリ、さい  
 ばん号ハ約束ノ日ヨリ遅リ島ニ帰リシニヨリ漸ク拿捕ヲ免レタリ。  
 ろっべん島モ實際ノ海上密猟者ノ為ニ損害ヲ蒙リタルコト疑ナ  
 レトモ其程度ヲ知ルコト能ハス。  
 ぼぶりつく号船長ぐれんべるぐノ一八九五年ノ報告ニヨリハ北島ノ  
 殺ハ北島ノモノニ對シ四十ト一トノ比列ナリト。  
 本島ニテ得ラルル、毛皮ノ重量ハ良好ナリ、一歳ノ獸ノ毛皮ハ甚ク  
 稀ナリシト云フ、又同船長ハ北島ノ屍骸、非常ニ多キヲ認メタリ  
 ト云フ。  
 ろっべん島密猟特許者、一八七二年一八九五年ニ得タル毛皮數



一八七一年	0	一八八四年	三、八一九
一八七二年	0	一八八五年	一、八三八
一八七三年	二、六九四	一八八六年	0
一八七四年	二、四一四	一八八七年	0
一八七五年	三、一三七	一八八八年	0
一八七六年	一、五三〇	一八八九年	0
一八七七年	二、九四九	一八九〇年	一、四五六
一八七八年	五、一四〇	一八九一年	四、五〇〇
一八七九年	四、〇〇二	一八九二年	0
一八八〇年	三、三三〇	一八九三年	一、五〇〇
一八八一年	四、二〇七	一八九四年	一、〇〇〇
一八八二年	四、一〇六	一八九五年	一、三〇〇
一八八三年	二、〇四九		
		総計	四四、九〇九

附録

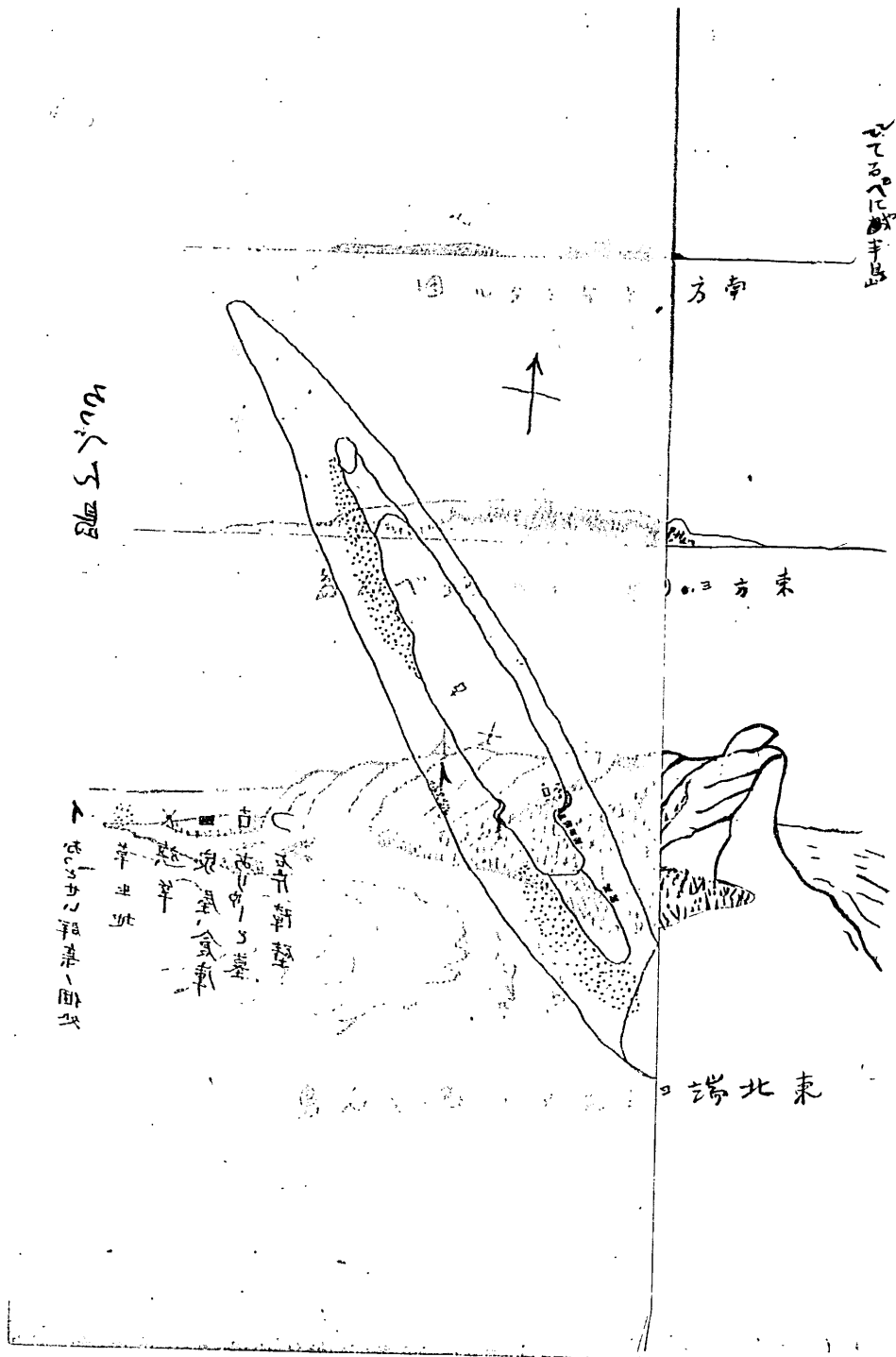
こんまんだー島ニ関シテハ一八八四年ニ其中ノかつぱー島ニ士官一名、兵士二十三人、ベリリんぐ島ニ兵九名ヲ配置シタリト云フ、古今ノ兵士ヲ療シ土人ヲ以テ護衛者ニ充ツルト云フ、其哨舎ニ良好ナル望遠鏡ト速射銃トヲ備フ。

同島蕃殖場ニ関スル規程ニ左ノ如キモノナリト云フ。

一、此獸一頭ヲ殺ス者ニ百円、切獸一頭ヲ殺ス者ニ一円ヲ科ス。

一、蕃殖場ニハ釘装ノ靴ヲ穿フヘカラス、ごも靴或ハたるばとまん靴ヲ穿フヘシ。



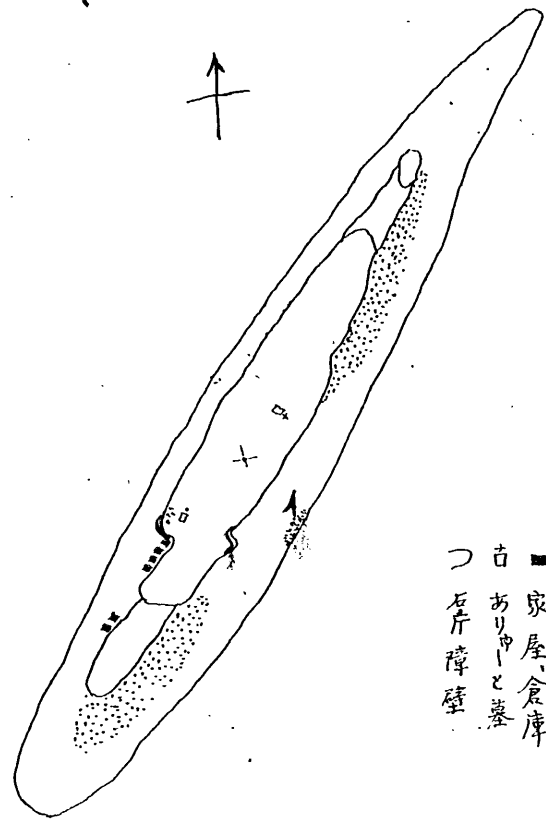


参考書

Severald Steiner — The Russian Fur-seal Lands. U. S. Fish Commission Bulletin. 1895. Washington.

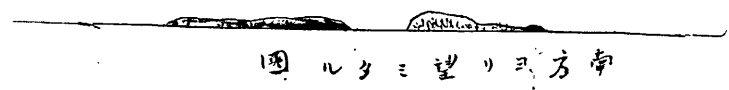
一、蕃殖場ニテハ喫煙シ若クハ排世スルエトシ嚴禁ス。  
 一、小刀ヲ持ツハ許スモ金屬製ノ尖端ヲ有スル杖ヲ持ツルヲ許サス。

一、小兒及ヒ婦人ノ蕃殖場ニ入ルヲ禁ス。又犬ハ蕃殖場ヨリ半哩以内ニ入ラシムベカラス。



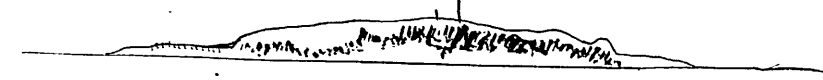
るつへん島

イ  
おとせい  
研桑ノ  
個処  
草  
生地  
×  
旗竿  
■  
家屋、  
倉庫  
古  
あり  
ゆい  
と  
墓  
つ  
石  
斤  
障  
壁

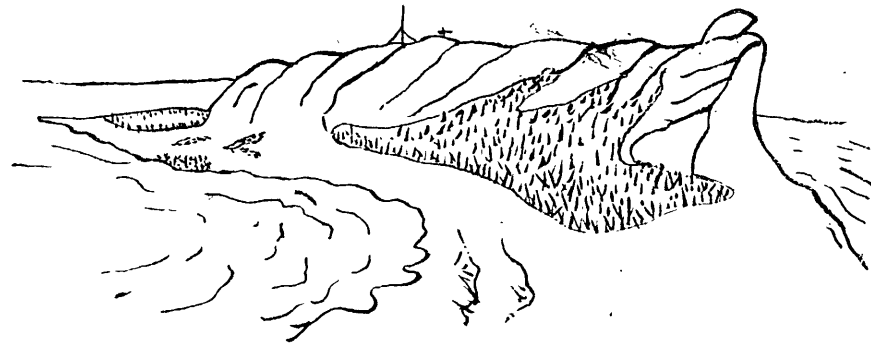


南  
方  
三  
望  
ミ  
タ  
ル  
ノ  
図

るつへん島



東  
方  
ヨ  
コ  
望  
ミ  
ル  
ッ  
べ  
ん  
島



東  
北  
端  
ヨ  
見  
ル  
ッ  
タ  
ル  
べ  
ん  
島

西 方 西

西 方 西

お と せ と せ

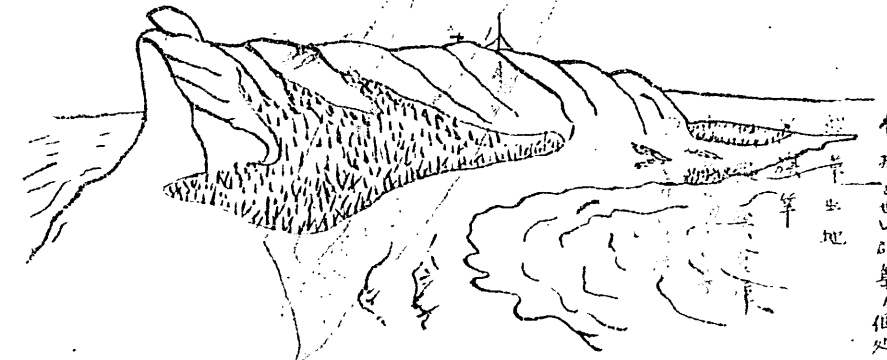
西 方 西

日本国地図

日本国地図

日本国

日本国地図



おとせとせ

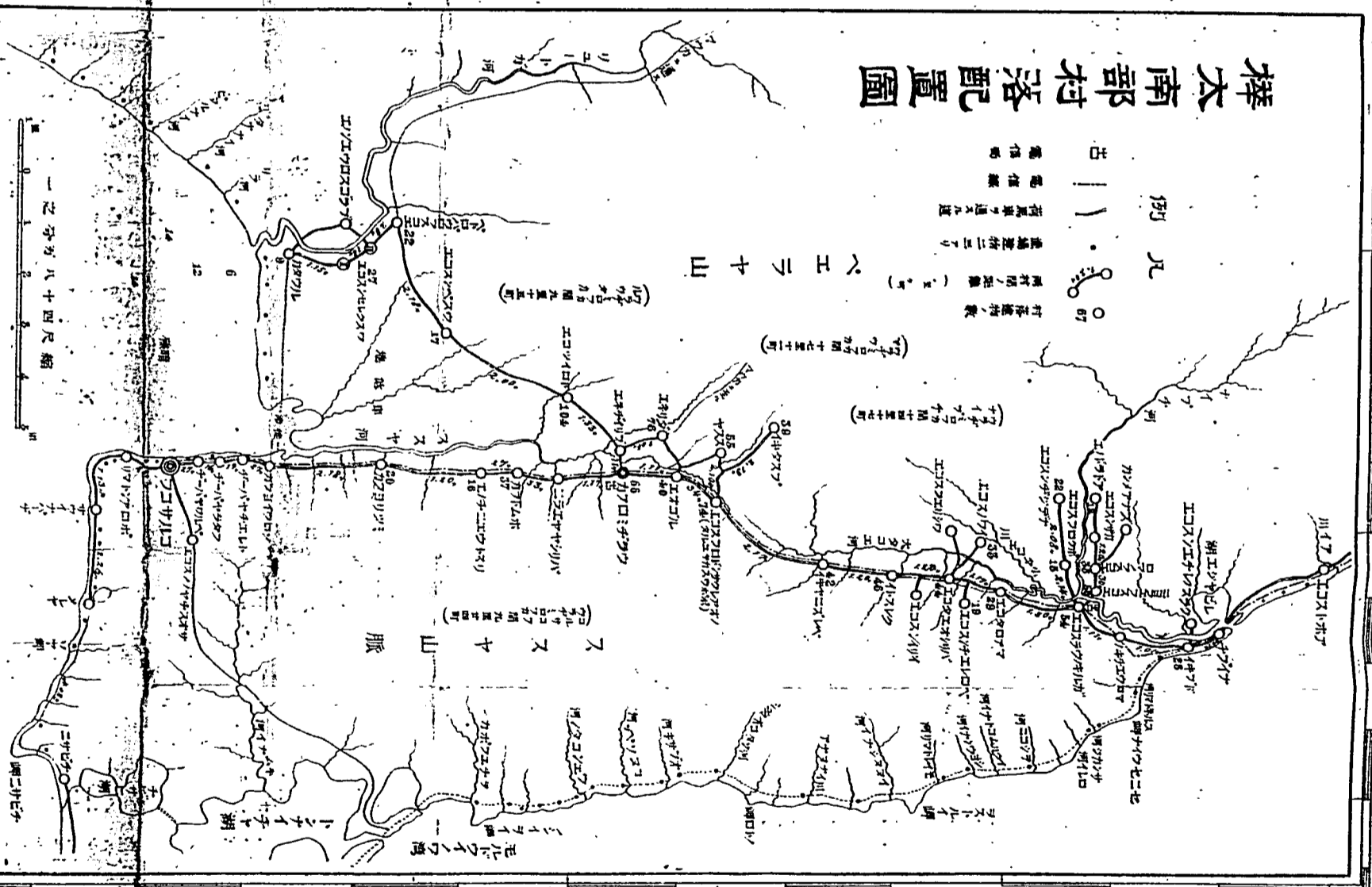
日本国地図

5-0398

0326

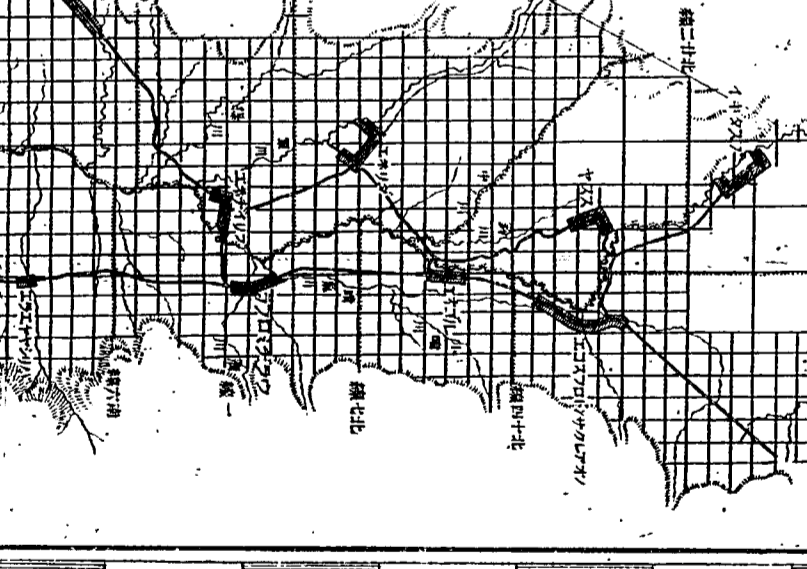


# 樺太内略圖



樺太南部村落配置圖

- 凡例
- 行政村界
  - 行政支庁界
  - 支庁界
  - 町界
  - 村界
  - 支庁界
  - 町界
  - 村界
- ノリノ山 (支庁界)
- ノリノ山 (町界)
- ノリノ山 (村界)



ノリノ山

ノリノ山

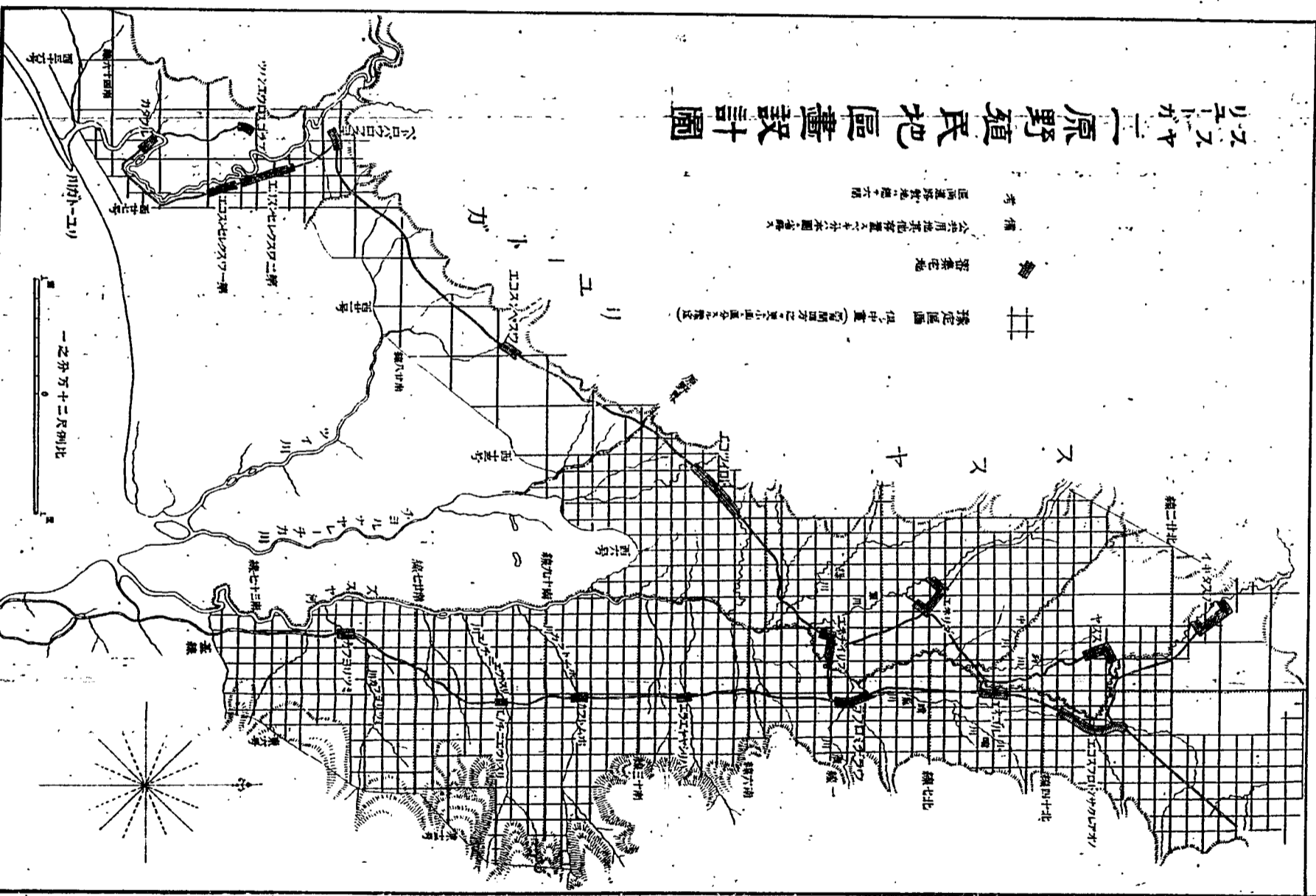
ノリノ山

ノリノ山

ノリノ山

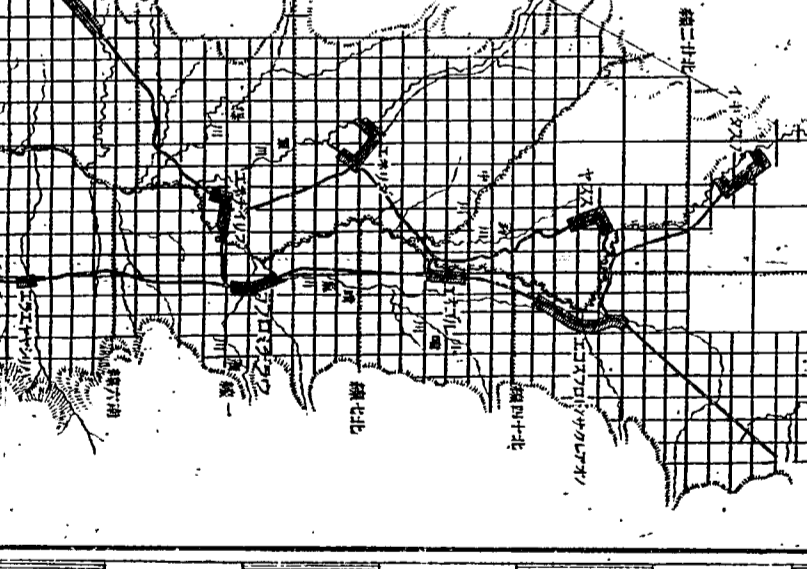
ノリノ山

ホ  
ク  
カ  
海



ノリノ山

- 凡例
- 行政村界
  - 行政支庁界
  - 支庁界
  - 町界
  - 村界
  - 支庁界
  - 町界
  - 村界
- ノリノ山 (支庁界)
- ノリノ山 (町界)
- ノリノ山 (村界)



ノリノ山

ノリノ山

ノリノ山

ノリノ山

ノリノ山

ノリノ山

5-0398

0328

14.0°

14.2°

14.4°

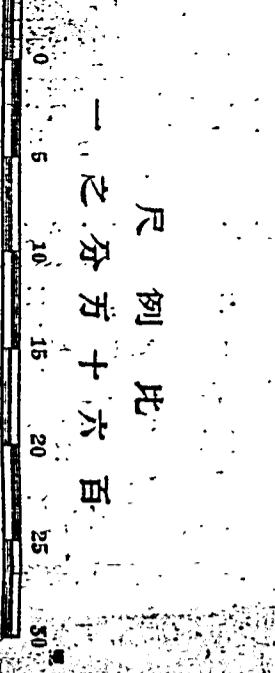
14.6°

# 櫻子隘圖



### 凡例

○	○	古
□	○	古
○	○	古
○	○	古
○	○	古
○	○	古
○	○	古
○	○	古
○	○	古
○	○	古
○	○	古



14.0°

14.2°

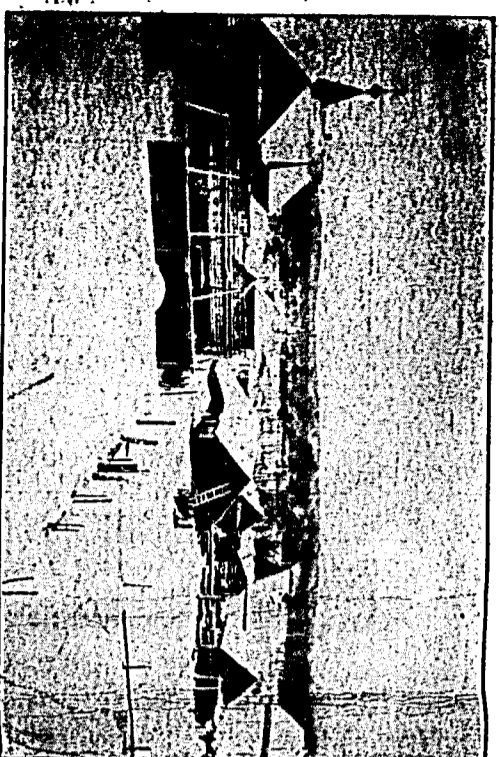
14.4°

5-0398



地區畫設計圖

052200



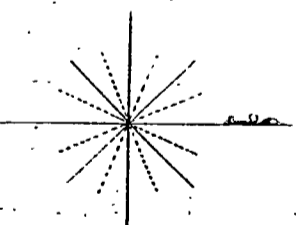
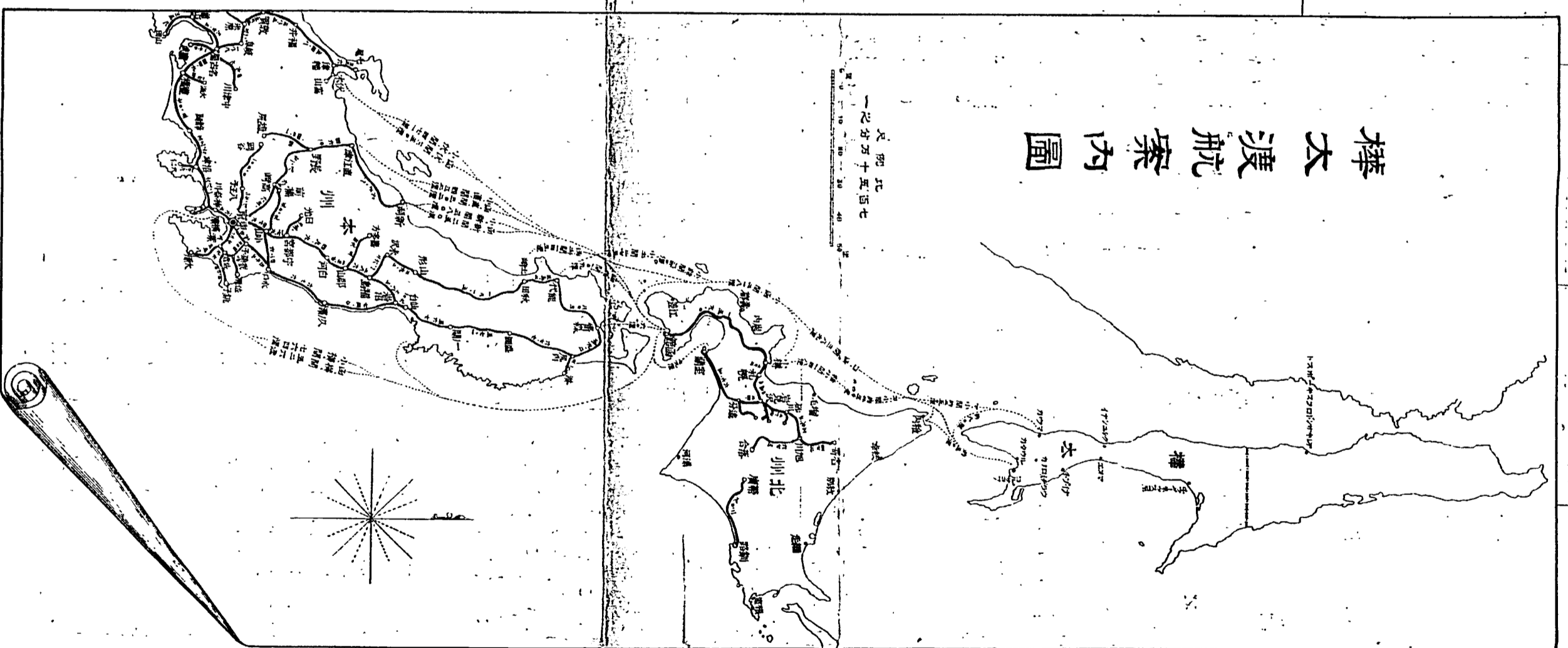
景のカノロミデララウ

印刷者 本間清造  
印刷所 北海石版所  
札幌区大通四丁目七番地

樺太民政署

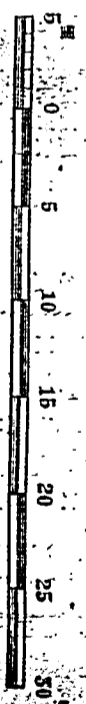
明治三十九年五月廿七日印刷  
明治三十九年六月六日發行

樺太渡航案内圖



例	凡
	○ 出
	○ 港
	○ 山
	○ 川
	○ 電
	○ 電
	○ 電
	○ 公
	○ 公
	○ 公

尺例比 一之分方十六百



138°

140°

138°

140°

5-0398

0398

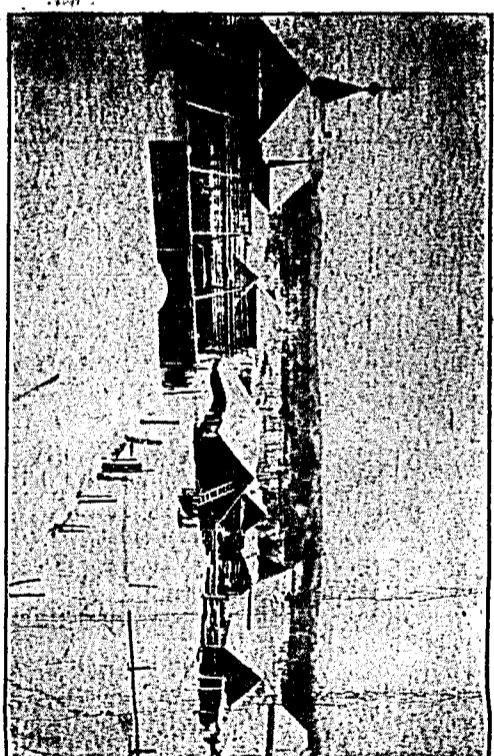


樺太渡航案内圖



5-0398

138°



景のカラロミゲラウ

明治三十九年五月廿七日印刷  
明治三十九年六月六日發行

樺太民政署

印刷者 本間 清造  
札幌區大通四丁目七番地

印刷所 北海石版所  
札幌區大通四丁目七番地

樺太民政署編  
第五卷  
第壹卷 樺太移住司草



Table with multiple columns listing names, locations, and various numerical values, possibly related to land or administrative data.

平均温度表 (露城の観測)
地名 露城 一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月 全年

コルサコフ物價表
種別 單位 呼價

露城の概況
權太は南は濱海、北は北緯五十五度を限りて露領に接す、地形東西に狭く南北に長し、小なり、山脈南北に連し、山岳は少く、トシトシナオチナオチ間

第一章 權太の概況
權太の主体はコルサコフと云ふ古時樺太を稱し、アムール川に臨み、樺太民政署を置き、シラキ、ウラウラ、旅人宿等ありて日用品の需要に便なし、ウラシムル地方はハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第二章 原野の概況
權太は南は濱海、北は北緯五十五度を限りて露領に接す、地形東西に狭く南北に長し、小なり、山脈南北に連し、山岳は少く、トシトシナオチナオチ間

第三章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第四章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第五章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第六章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第七章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第八章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第九章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第十章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第十一章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第十二章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、

第十三章 移住農民及び其保護
移住農民は北緯五十五度より南緯五十五度までの間、ハルビン、新張、瀋陽、大連等の樺太民政署の支庁をなす、コルサコフの北にハルビン、



權太の概況

Table with columns for '原野' (Fields) and '家屋' (Houses), listing various types and counts.

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

家屋
原野
カキ

原野
家屋
カキ

一、小島四ヶ所

二、一島

三、一島

四、一島

五、一島

六、一島

七、一島

八、一島

九、一島

十、一島

十一、一島

十二、一島

十三、一島

十四、一島

十五、一島

十六、一島

十七、一島

十八、一島

十九、一島

二十、一島

二十一、一島

二十二、一島

二十三、一島

二十四、一島

二十五、一島

5-0398

Table with columns for '原野' (Fields) and '家屋' (Houses), listing various types and counts.

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ

原野
家屋
カキ



權太の概況



科羅 薩島の村舎は皆露國政府の設計したもので、...

第三章 漁業の概況

本島の水産にして既に開墾の端に達したるもの鱈、鮭、鰯、昆布、鰺の五種とす...

第四章 気候及び農況

気候 前記の原野は東と西とを以て山脈あるが故に海岸に近き處の外は海と氣候の影響を受ける...



農作 従来の農業は露國人の設計したる所に於て其の肥料甚だ相宜なりしが其の味...

第五章 本年農民の移住地

本年の移住地 本年農民を移住せしむるは左の五ヶ所とす其の地は皆露國人の移住を成したる所にして...

收音 露國人は毎夜牛馬數十頭を飼育せり又豚、鶏、山羊、山芋を飼ひしものあり馬乳甚多からざれば...

右の外瓜、南瓜、無骨、蘿蔔、胡蘿蔔、牛蒡、蘿蔔、豆、豌豆、玉葱、トウモロコシ、カブ、アブラナ等あり...

旅人の住度 樺本は氣無差しか故に春期渡航するものは多し...

第九節 移住民の渡航 樺本の上陸地は官費を以て移住民居住所を設けし陸後目の地へ出發する迄の無料にて宿泊せしめ便宜を興へし...

決心 移住者は必ず移住地を以て來住の地と定む此處に樂しき新郷を開く決心を要す此の決心あれば自然勇氣も出て愉快に開墾の業を成就するを得...

衛生の秘訣 北海道の例によれば移住民は最も健康な人は其の氣血に働かぬが故なり衛生の秘訣は決して六ヶ數のみにあらず安心と労働とにありと知るべし...

官有土地建物賃付假規則 官有土地建物賃付假規則本年四月二十日...

第五節 村の概況

本島の水産にして既に開墾の端に達したるもの鱈、鮭、鰯、昆布、鰺の五種とす...

旅人の住度 樺本は氣無差しか故に春期渡航するものは多し...

第九節 移住民の渡航 樺本の上陸地は官費を以て移住民居住所を設けし陸後目の地へ出發する迄の無料にて宿泊せしめ便宜を興へし...

決心 移住者は必ず移住地を以て來住の地と定む此處に樂しき新郷を開く決心を要す此の決心あれば自然勇氣も出て愉快に開墾の業を成就するを得...

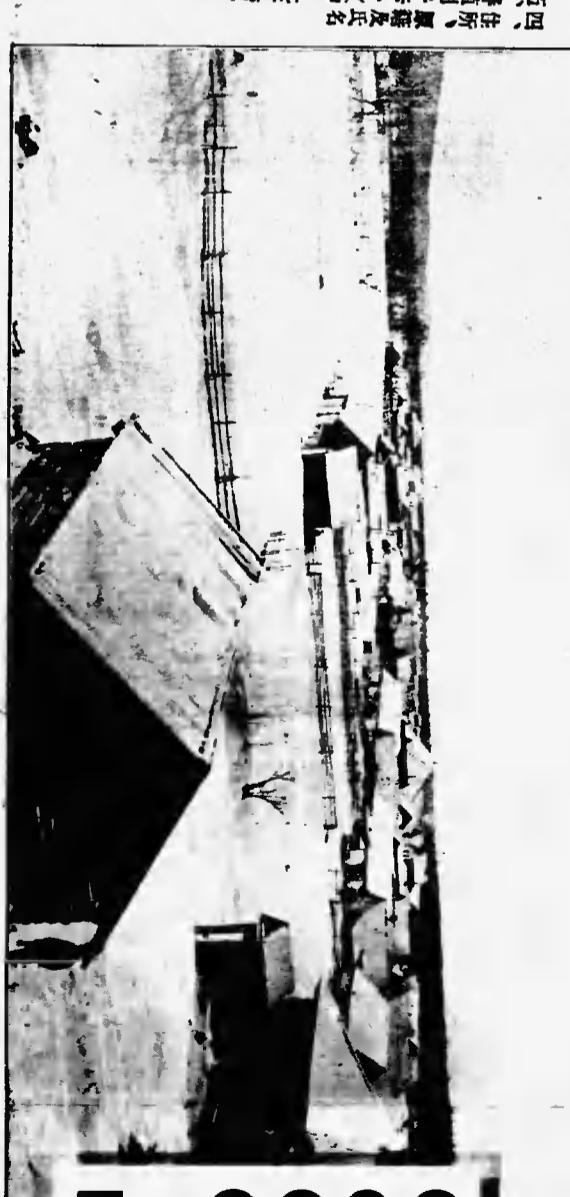
衛生の秘訣 北海道の例によれば移住民は最も健康な人は其の氣血に働かぬが故なり衛生の秘訣は決して六ヶ數のみにあらず安心と労働とにありと知るべし...

官有土地建物賃付假規則 官有土地建物賃付假規則本年四月二十日...

Table with columns for 姓名, 年齢, 籍貫, 職業, etc. listing individuals and their details.

Table with columns for 姓名, 年齢, 籍貫, 職業, etc. listing individuals and their details.

土地建物賃付料金 本年四月二十日 樺本の上陸地は官費を以て移住民居住所を設けし陸後目の地へ出發する迄の無料にて宿泊せしめ便宜を興へし...



本島の水産にして既に開墾の端に達したるもの鱈、鮭、鰯、昆布、鰺の五種とす...

右の外瓜、南瓜、無骨、蘿蔔、胡蘿蔔、牛蒡、蘿蔔、豆、豌豆、玉葱、トウモロコシ、カブ、アブラナ等あり...

本年の移住地 本年農民を移住せしむるは左の五ヶ所とす其の地は皆露國人の移住を成したる所にして...

收音 露國人は毎夜牛馬數十頭を飼育せり又豚、鶏、山羊、山芋を飼ひしものあり馬乳甚多からざれば...